

地球をこわしているのは、だれ? 地球を守るのは、だれ?



太陽くん（小学5年生）



あゆちゃん（小学5年生）



大地くん（小学5年生）

…地球の気温は20世紀の間に 0.6°C 上昇。
このままでいくと
2100年には $1.4\sim5.8^{\circ}\text{C}$
上昇すると予測…

エー!
たいへん!



…氷河が減り
海面が上昇、各地で
干ばつや豪雨などの
異常気象が
激化する可能性が…

大地、心配するな。
人間はどんな動物より
頭がええんや。
なんとか
するさ

ははは…、
そうよねえ



異常象



大洪水



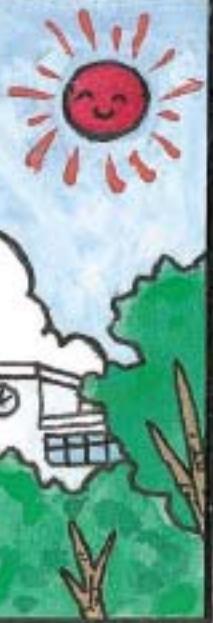
砂ぼく化



台風

干ばつ

次の日
校庭で



じゃあ、
地球温暖化のことも
わかるの？

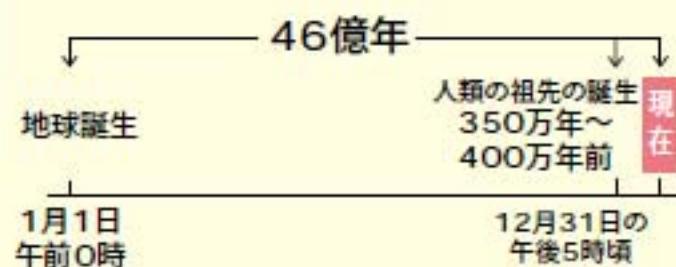
もちろんよ

うちの父さんも
母さんも人間は
かしこいから
なんとかなるって
言うけど、ほんまに
だいじょうぶなの？

う～ん、たしかに
人間は他の動物と違って
道具を作り出し、
新しい技術を開発して
いく頭脳を持っているわ
でもねほら！
この地球カレンダーを
見てごらん

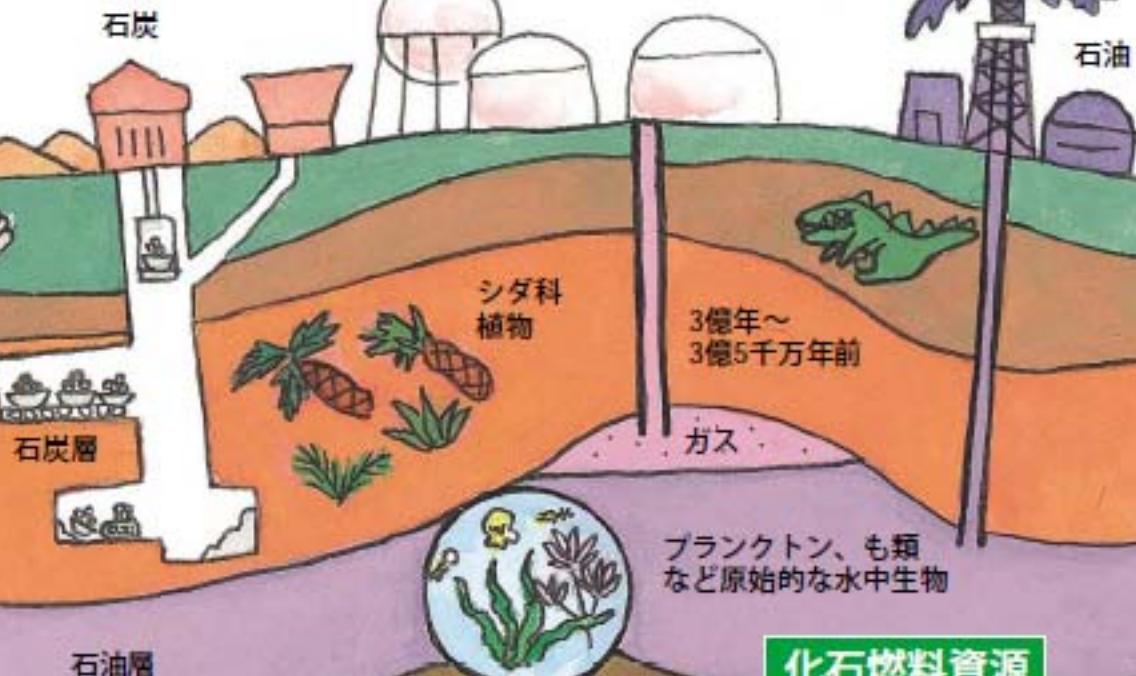
地球は太陽からちょうどよいきよりに生まれたので、水と大気に恵まれ様々な生命を生み出した。そして350万年から400万年前に人類の祖先が誕生した。

地球カレンダー



人が今のように
豊かな暮らしを始めたのは
この200年くらいの間のことなの。
この地球カレンダーには
表せないくらいの時間なのよ。

このほんの少しの
間に人間は、地球が
長いあいだかけて
たくわえてきた石油や
石炭をどんどん
使ってきたの



化石燃料資源

エ～！
じゃあ石油は
いつかなくなるの？

そう、石油は
化石燃料といって
大昔の動植物が
地中で変化して
できたものなのよ
限りある資源なの

石油に代わる
エネルギーって
ないの？

太陽光発電や
風力発電などが
増えてきているわ
でも今の豊かな
暮らしを支えるには
まだじゅうぶんじや
ないの

太陽光発電

それにね
この石油を
使った暮らしが
地球の環境を
こわして
いるの

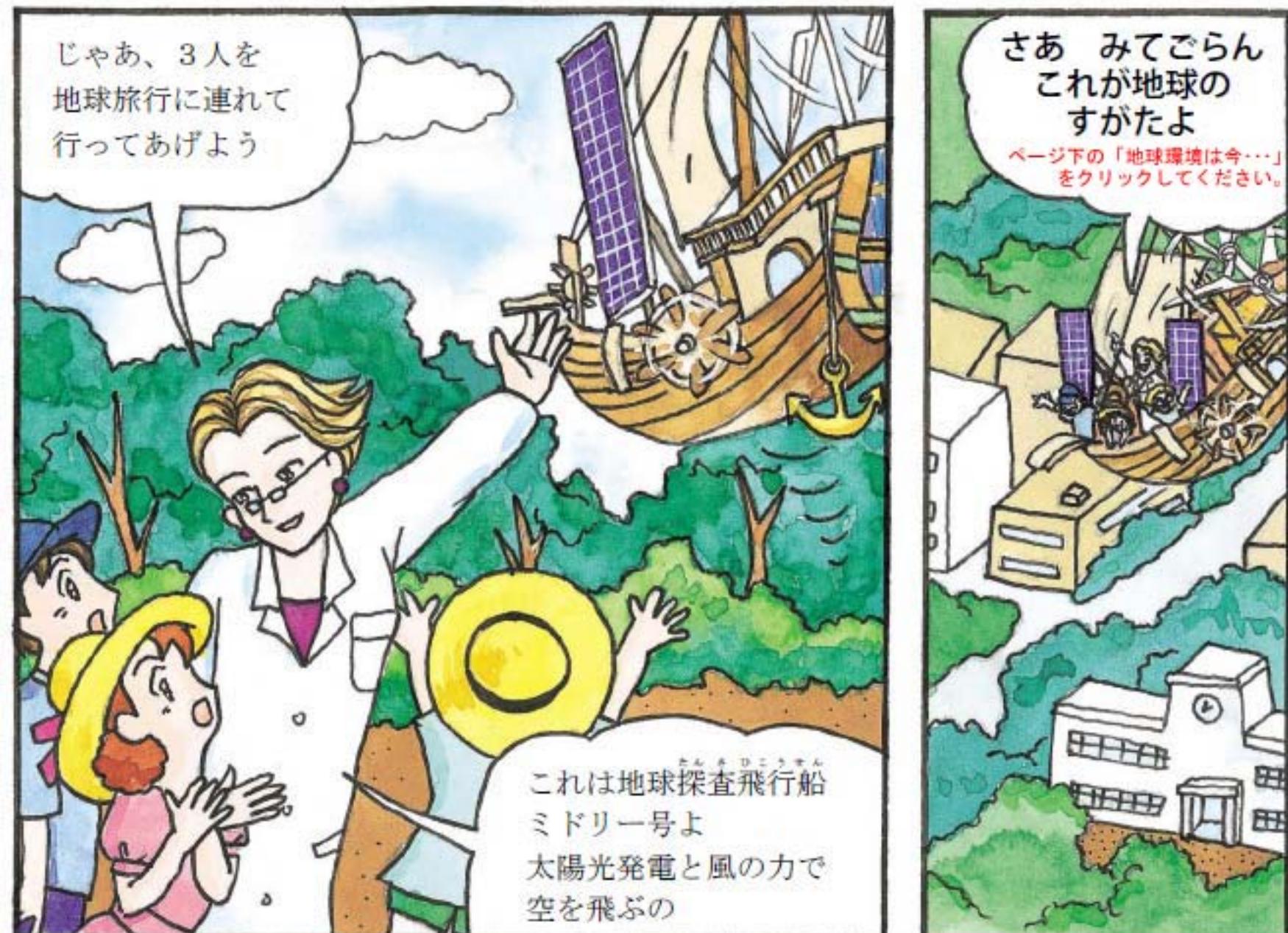
風力発電

二酸化炭素が
増えてるってこと
やろ？

そうよく
知ってる
わね

地中にあった石油
や石炭を人間が
どんどんほりだして
燃料にしたりした
ために大気の中に
二酸化炭素が
どんどん
増えはじめたの





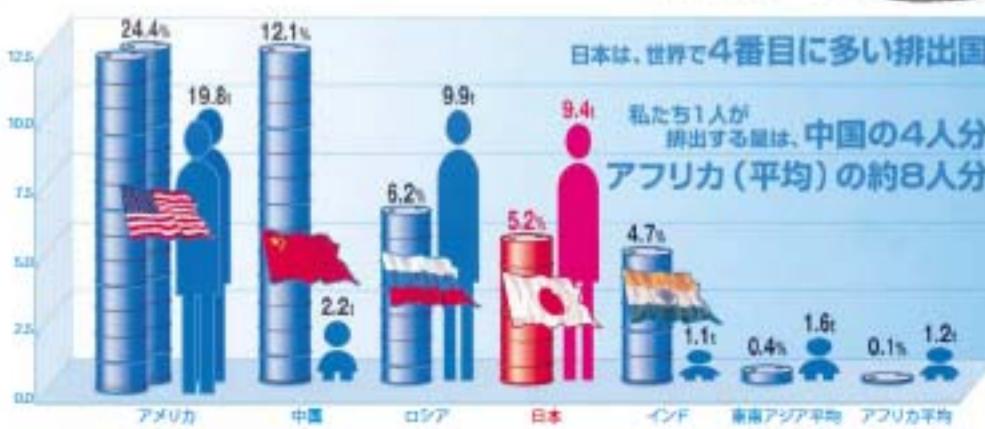


※吹き出しの中にことばを入れてみよう。



世界のCO₂総排出量を100%とした場合の
主要国の排出割合(%)と各国の1人当たり
の排出量(CO₂換算トン)の比較【2000年】

二酸化炭素をたくさん
出している国はどこ？



日本は4番目に
多いの!!

でも世界中で
二酸化炭素を
減らす目標を
立てて
がんばって
るんやろ

そうね *京都議定書っていう言葉は
聞いたことある?
日本はこの取り決めで2008~2012年
の間に二酸化炭素などの1年間の
排出量を1990年に比べて6%減らす
と約束したの…

京都議定書 二酸化炭素などの温室効果ガスを2008年から2012年の間に、先進国全体で1990年に比べ5.2%減らそうという取り決めをした「約束書」のこと。1997年に京都で開催された会議（地球温暖化防止京都会議=COP3）で取り決められたのでこの名がついた。

(2005年2月16日 発効)

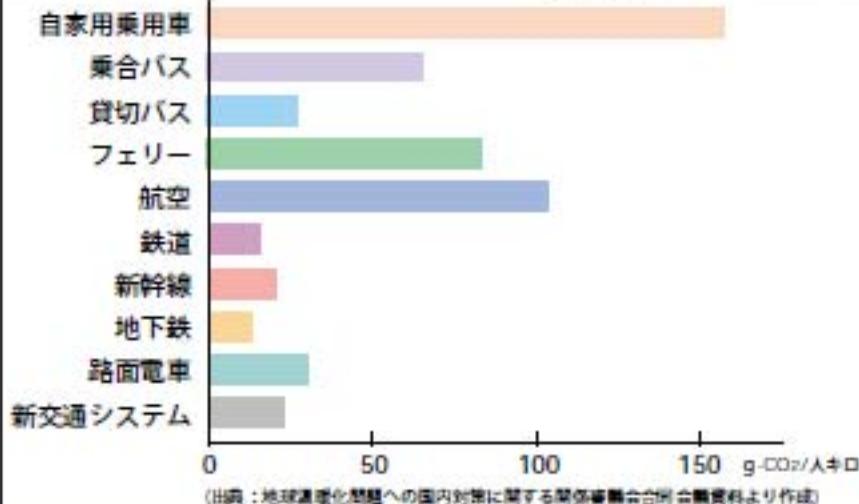
えーっ
たいへん

なんとか
できないの?

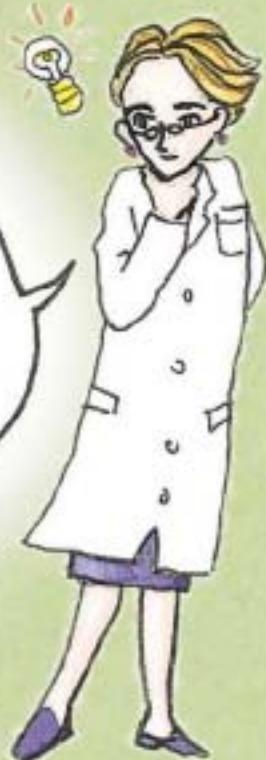
でもね
2003年度には
反対に8.3%も
増えてしまったの

二酸化炭素を
たくさん出す大きな
原因に自動車があるわ
この図をごらんなさい

1人を1km運ぶのに排出するCO₂の比較



最近は環境に
やさしい自動車も
いろいろあるんだけど
知ってるかな?



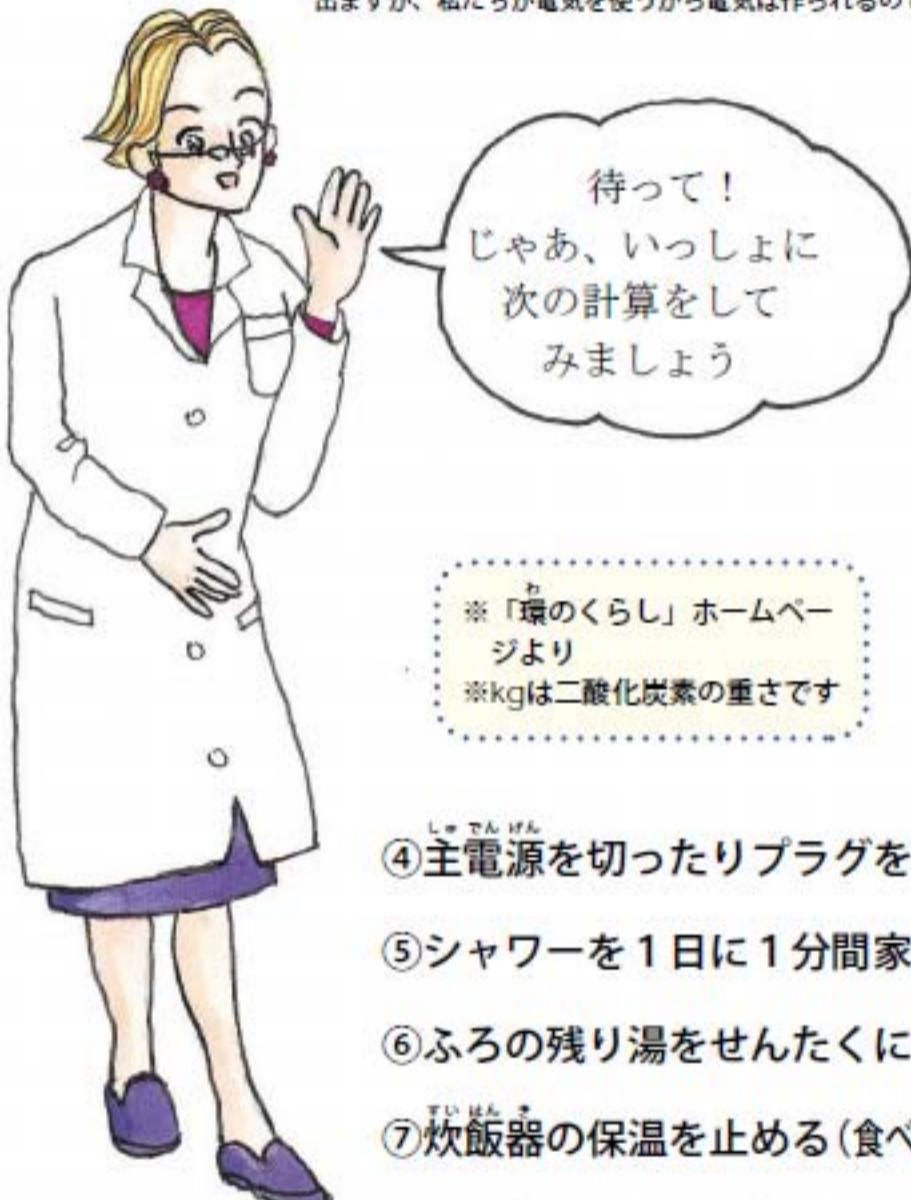
電気自動車!

天然ガス自動車!

うちのはハイブリッド
自動車。ガソリンと電気
がうまく助け合ってるん
だって



注意：二酸化炭素は、実際には電気を使うときではなく、電気を作るときに
出ますが、私たちが電気を使うから電気は作られるのです。



- | | |
|--|----------|
| ①冷房を1°C高く暖房を1°C低くする | 約 31kg/年 |
| ②週2日往復8kmの車の運転をひかえる
(通勤や買い物にバスや電車、自転車を利用する) | 約185kg/年 |
| ③1日5分間アイドリングストップする
(駐停車中の車のエンジンを切る) | 約 39kg/年 |
| ④主電源を切ったりプラグを抜く | 約 87kg/年 |
| ⑤シャワーを1日に1分間家族全員が減らす | 約 65kg/年 |
| ⑥ふろの残り湯をせんたくに使う | 約 17kg/年 |
| ⑦炊飯器の保温を止める(食べるときに電子レンジであたためる) | 約 31kg/年 |
| ⑧家族が協力して冷暖房と照明の利用を2割減らす | 約240kg/年 |
| ⑨買い物袋を持ち歩き包装の少ない野菜などを選ぶ | 約 58kg/年 |
| ⑩1日1時間テレビを見る時間を減らす | 約 13kg/年 |

<計算してみましょう>

1 ①～⑩をたすと

計 約 kg/年 = 年間1世帯あたり削減量

これは年間約41,000円の節約にもなるよ！

これを日本中の家庭で取り組んだとすると……

2 ②③の自動車の取組による削減（日本の自家用乗用車数 5,502万台）

(約185kg/年 + 約39kg/年) × 5,502万台 = kg/年

3 その他の取組の合計（日本の世帯数 5,038万世帯 2004年度）

①～⑩の合計 - (②+③) = 約 kg/年

約 kg/年 × 5,038万世帯

= 27,305,960,000kg/年

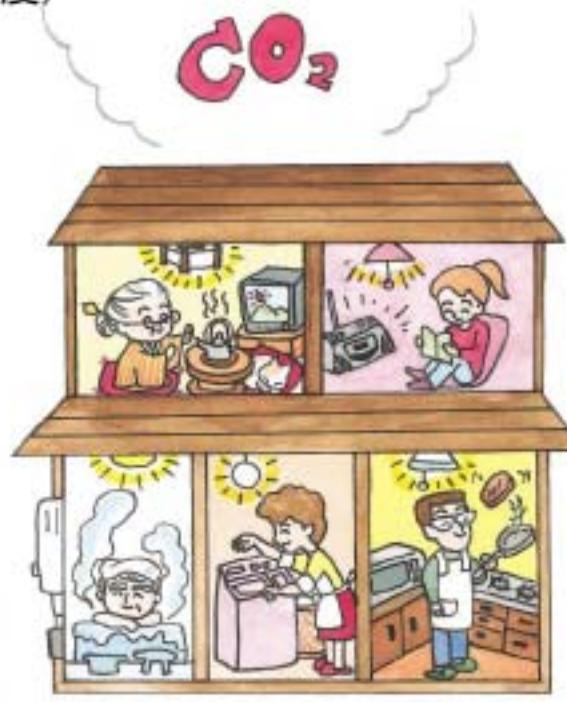
4 2 + 3 = kg/年 ≈ 39.6百万トン

(日本の世帯全体の削減量)



これは、日本の2003年度のCO₂排出量

1,259百万トンの3%削減にあたる。



家庭からの二酸化炭素排出量のエネルギー源別割合
(水道、廃棄物、自家用車の利用を含めた場合)

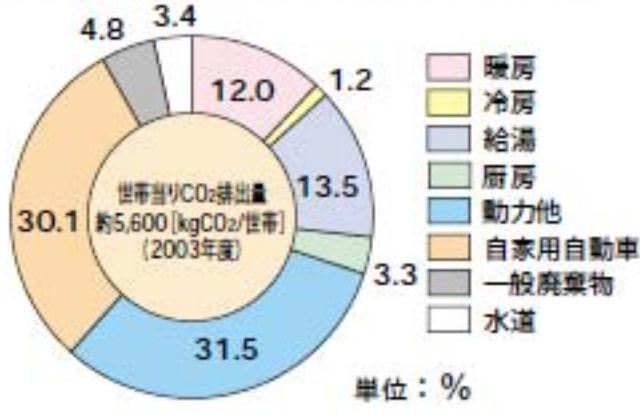


※廃棄物は事業系一般廃棄物を含む

資料：「2003年度 日本の温室効果ガス排出量データ」

(独立行政法人 国立環境研究所 地球環境研究センター
温室効果ガス インベントリオフィス) より作成

家庭からの二酸化炭素排出量の用途別割合
(水道、廃棄物、自家用車の利用を含めた場合)

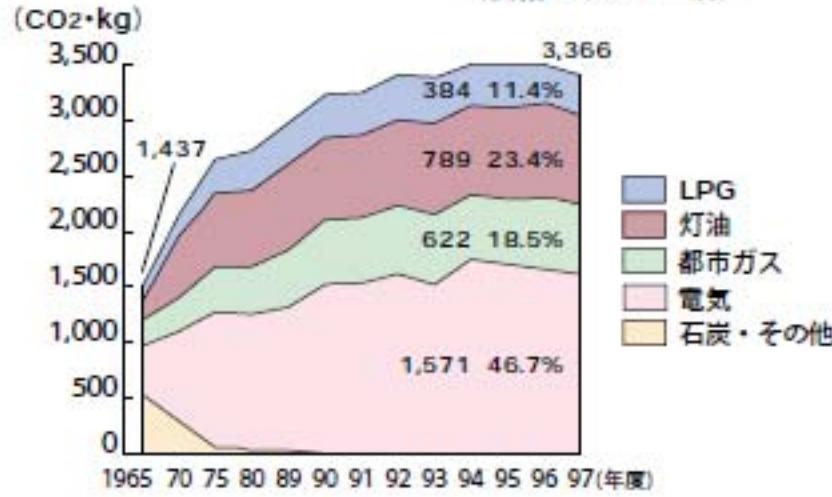


※廃棄物は事業系一般廃棄物を含む

資料：「2003年度 日本の温室効果ガス排出量データ」

(独立行政法人 国立環境研究所 地球環境研究センター
温室効果ガス インベントリオフィス) より作成

1世帯当たり年間二酸化炭素排出量の推移
(供給エネルギー別)

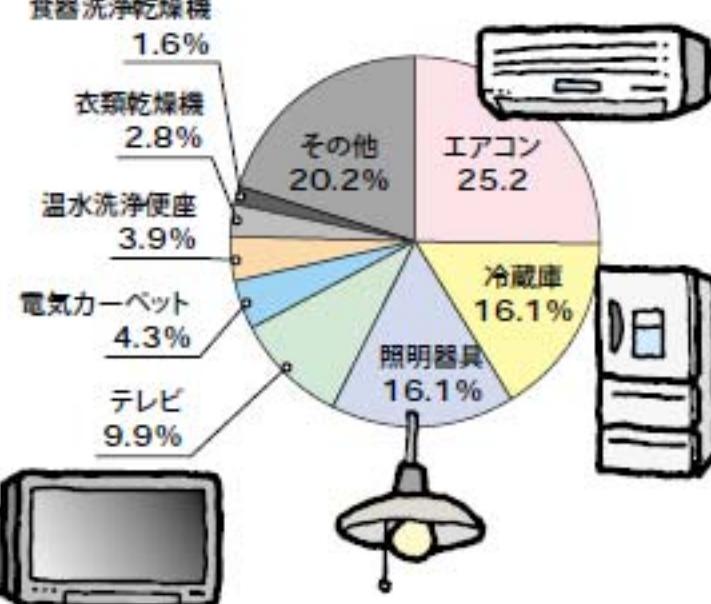


(資料：住環境計画研究所「家庭用エネルギーハンドブック」

(平成11年) 等より環境省作成)

(出典：「環境白書 平成12年度版」総説)

家庭における消費電力量ウェイトの比較



資料：資源エネルギー庁

「平成16年度 電力需給の概要 (平成15年度推定実績)」



ごみの問題は
事業者や市町村
だけにまかせておけば
いいというのではないわ
みんな（消費者）も
①買い物をするとき
②使うとき
③捨てるとき
いつも環境のことを
考えてほしいの

区分	年度	リサイクル率の推移 (単位: %)									
		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
京都府	3.7	3.8	3.9	4.1	4.7	5.3	5.2	5.4	5.9	7.3	7.4
全国	8.0	9.1	9.8	10.3	11.0	12.1	13.1	14.3	15.0	15.9	16.8

